SONY

3-228-678-**04**(2)

学習機能付 リモートコマンダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠**警告** 電気製品は安全のための注意を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

RM-VL700U

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
  動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。
- **万一、異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電その他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号　　行為を禁止する記号



⚠警告



下記の注意事項を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。

幼児やペットなどに誤って触らせない



このリモコンはオーディオ・ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。
使用後は幼児やペットが誤って触らないように、手の届かないところに置くと同時に、ホールド機能（35ページ参照）を使って操作ボタンをロックしてください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部に水や異物を入れない



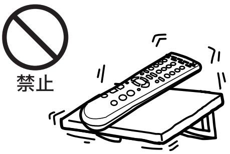
水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、リモコンの電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

内部を開けない



感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

安定した場所に置く



ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因になることがあります。また、置き場所の強度も十分に確認してください。

目次

準備

基本的な使いかた

進んだ使いかた

その他の機能

その他

主な特長

RM-VL700Uは、複数のリモコンによるAV機器操作の煩わしさを解消し、1台でお手持ちのAV機器の集中コントロールを可能にしたリモートコマンダーです。本機は、以下のような特長を備えています。

ソニー製AV機器の集中コントロールがこの1台で可能

工場出荷時には、ソニー製のAV機器のリモコン信号が設定されていますので、そのままソニー製AV機器のコントロールセンターとしてお使いいただけます。

ソニー製品以外のリモコン信号もあらかじめ記憶ずみ

ソニー製品を含め、主なメーカーのAV機器のリモコン信号が記憶させてあります。機器の種類とメーカー番号を選ぶだけで、お手持ちの機器のリモコン操作が簡単に行えます。（9ページ）

別のリモコンの信号が記憶できる学習機能

お手持ちの機器の付属リモコンの信号が、本機にあらかじめ記憶されていなかった場合は、本機に「学習」させて記憶させることができます。（学習させるときは、お手持ちの機器の付属リモコンを使います。）（18ページ）

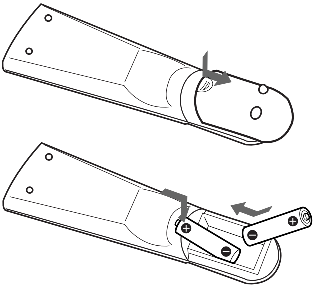
また、AV機器だけでなく、エアコンや照明器具などに付属のリモコンの信号を学習させることもできます（一部の機器を除く）。（27ページ）

機器選択ボタンにお好みで自由に機器を設定可能

それぞれの機器選択ボタンに、表示と異なる種類の機器の操作機能を自由に設定することができます。例えば、複数のビデオをお使いの場合でも、他の機器選択ボタンのなかで使用しないものがあれば、そこに設定してお使いいただけます。（31ページ）

電池を入れる

下図に従って単3形乾電池2本（付属）を入れます。



電池の交換時期

リモコン操作用電池（2本）

ふつうの使いかたをした場合、約6か月もちます。電池が消耗すると、リモコンは正常に作動しなくなったりリモコンの動作距離が短くなったりします。そのようなときは、2本とも新しい電池と交換してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

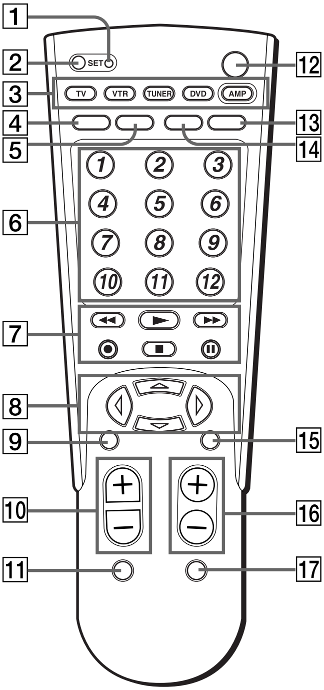
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

各部のなまえ



1 SET(セット)ランプ

2 SET(セット)ボタン

3 機器選択ボタン
操作中に点灯または点滅します。

4 BS/衛星切換ボタン

5 画面表示ボタン

6 番号/選局ボタン

7 操作ボタン

8 カーソルボタン

9 メニューボタン

10 音量+/−ボタン*

11 消音ボタン*

12 電源ボタン

13 入力切換/i.LINKボタン

14 オフタイマー/スチルボタン

15 決定ボタン

16 チャンネル+/−ボタン

17 リコールボタン

***音量+/–ボタンと消音ボタンについてのご注意**
映像機器を選んでいるときは、テレビの音量を調節および消音します。オーディオ機器を選んでいるときは、アンプの音量を調節および消音します。音量調節する機器の設定は変えることができます（28ページ）。

ご注意
リモコンの設定や操作する機器によって、ボタンの機能が異なります。
本機の工場出荷時のそれぞれの機器に対する操作ボタンの機能については、『記憶されている機能一覧表』（41ページ）をご覧ください。

ソニー以外のAV機器の操作を設定する

—メーカー番号の設定—

本機は工場出荷時に、ソニー製のAV機器を操作できるように設定されています（下の表参照）。工場出荷時の設定と同じソニー製品を操作する場合は、メーカー番号の設定を行う必要はありません。
他社製のAV機器を操作する場合、またはソニー製のAV機器でも動作しないときは、10ページの手順に従ってメーカー番号を設定してください。

機器選択ボタン	操作できる機器	工場出荷時の設定
TV	• テレビ* • ビデオ一体型テレビ*	ソニー製テレビ
VTR	ビデオデッキ*	ソニー製VHSビデオデッキ
TUNER	• デジタルCS放送チューナー • ケーブルテレビ用ホームターミナル	ソニー製デジタルCSチューナー
DVD	DVDプレーヤー（DVD）	ソニー製DVDプレーヤー
AMP	アンプ	ソニー製アンプ

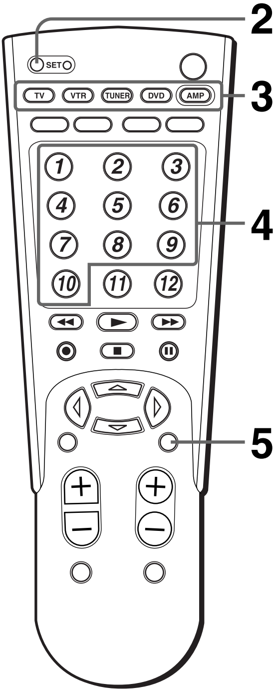
* BSチューナー内蔵テレビまたはビデオデッキを含む。

ちょっと一言

- BSデジタル機器は記憶されていません。お使いの場合は他の機器選択ボタンに学習（18ページ）してお使いください。
- CDプレーヤー、MDプレーヤー、カセットデッキなどの操作機能を上記のいずれかの機器選択ボタンに設定することができます。また、お好みの機器のリモコン信号を機器選択ボタンの表示にかかわらず設定することもできます。詳しくは『機器選択ボタンの表示と違う機器を設定する』（31ページ）をご覧ください。
  それぞれの機器に対する操作ボタンの機能については、『記憶されている機能一覧表』（41ページ）をご覧ください。

次のページへつづく

メーカー番号を設定する



例: 松下電器のテレビを設定するには

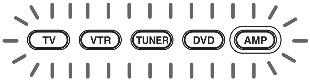
1 付属の『メーカー番号一覧表』を参照し、操作する機器のメーカー番号を探す。

メーカー番号が複数ある場合は、一番左の番号を使って設定してください。
例えば、パナソニック/ナショナル（松下）のテレビを設定するときは、まず「007」を使います。

2 SETを押す。



機器選択ボタンがすべて点滅します。



3 設定する機器の機器選択ボタンを押す。



選択された機器の機器選択ボタンが点灯し、他の機器選択ボタンは消灯します。



4 3桁のメーカー番号を押す。

「0」を入力するときは

10/0ボタンを押してください。

5 決定ボタンを押す。

機器のメーカー番号が確定され、機器選択ボタンは消灯します。



機器選択ボタンが5回点滅してから消灯した場合は、設定は無効になります。もう一度手順2からやりなおしてください。

ご注意

- 『メーカー番号一覧表』にない番号を押したり、間違った順番で番号を押すと、機器選択ボタンが5回点滅してから消灯します。メーカー番号を確かめてから、もう一度設定をやりなおしてください。
- 設定操作の途中で20秒以上放置すると、入力待ち状態が解除されます。メーカー番号の設定を続けるには、もう一度手順2からやりなおしてください。
- 設定操作の途中でSETを押すと、それまでに入力された番号は消え、設定が無効になります。もう一度手順2からやりなおしてください。

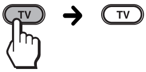
設定操作を中止するにはSETを押します。

メーカー番号が正しく設定されているか確認する

1 操作する機器本体の主電源を入れる。

2 確認したい機器の機器選択ボタンを押す。

機器選択ボタンは押したときに点灯し、はなすと消灯します。



3 操作する機器に本機を向けて電源ボタンを押す。

操作ボタンを押したとき、機器選択ボタンが一時点灯し、はなすと消灯ます。



正しく設定されていれば、操作する機器の電源が切れます。

4 電源の操作が正しくできた場合は、チャンネルや音量などの他の操作も確認してみる。

詳しくは『お手持ちの機器をリモコン操作する』(14ページ)をご覧ください。

次のページへつづく

ソニー以外のAV機器の操作を設定する—メーカー番号の設定—（つづき）

正しくリモコン操作ができないときは

付属の『メーカー番号一覧表』を参照し、操作したい機器に複数のメーカー番号がある場合は、他の番号を使って、もう一度10ページの設定操作を行うか、サーチ機能（右記）を使って設定して下さい。

音量+/–ボタンと消音ボタンについてのご注意

映像機器を選んでいるときは、テレビの音量を調節および消音しますので、TVボタンが点灯します。



オーディオ機器を選んでいるときは、アンプの音量を調節および消音しますので、AMPボタンが点灯します。



操作する機器のメーカー番号を設定するときは、最初にTVとAMPの設定をすると便利です。

すでにリモコン信号が学習されているキーについてのご注意

学習機能（18ページ）によって、あるリモコン信号がすでに記憶されているボタンには、メーカー番号を設定しても、そのメーカー番号とは関係なく、学習された信号が残ります。
メーカー番号の設定どおりのボタンの機能を使う場合は、学習させたリモコン信号を消してください（24ページ）。

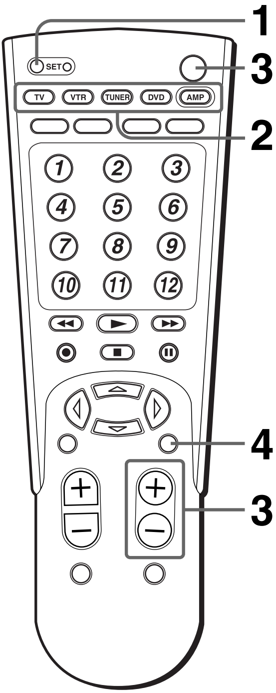
メーカー番号一覧にない機器を設定する

『メーカー番号一覧表』にない機器についてはサーチ機能によって設定することができます。

サーチをはじめる前に

サーチ機能での設定を正確に行えるように、最初に設定する機器本体を以下の状態にしておいてください。
TV: 電源を入れる。
VTR、TUNER、DVD、AMP: 電源を切る。
CDプレーヤー*、MDプレーヤー*、カセットデッキ*: 電源を入れ、再生するディスクまたはカセットテープを入れる。

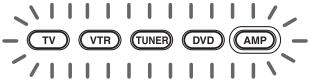
* 機器選択ボタンにこれらの機器が設定してある場合（31ページ）はサーチ機能で設定を行えます。



1 SETを押す。



機器選択ボタンがすべて点滅します。



2 設定する機器の機器選択ボタンを押す。

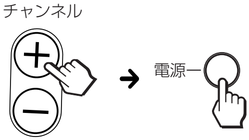


選択された機器の機器選択ボタンが点灯し、他の機器選択ボタンは消灯します。



3 機器本体が以下のように反応するまでチャンネル＋またはチャンネル－ボタンと電源ボタンを交互に押す。

TV: 電源が切れる。
VTR、TUNER、DVD、AMP: 電源が入る。
CDプレーヤー、MDプレーヤー、カセットデッキ: 再生が始まる。



チャンネル＋を押した回数分コード番号が送られます。
チャンネル－を押した回数分コード番号が戻ります。
コード番号が一巡すると、機器選択ボタンが3回点滅します。

次のページへつづく

4 決定ボタンを押す。



機器のメーカー番号は確定され、機器選択ボタンは消灯します。



機器選択ボタンが5回点滅してから消灯した場合、設定は無効になります。もう一度はじめからやりなおしてください。

5『メーカー番号が正しく設定されているか確認する』（11ページ）にしたがて、機器を操作できるかどうかを確認する。

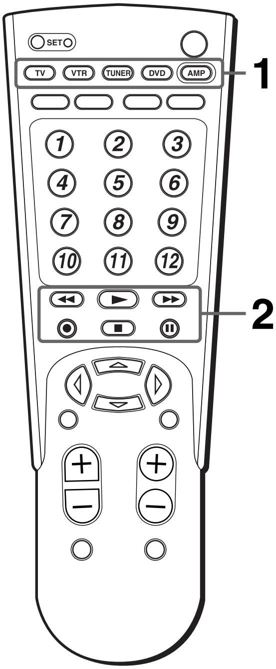
ご注意

- 設定の途中で20秒以上放置すると、入力待ち状態が解除されます。メーカー番号の設定を続ける場合は、もう一度はじめからやりなおしてください。
- 設定の途中でチャンネル＋/－または電源以外のボタンを押すと、それまでに入力された番号は消え、設定が無効になります。もう一度はじめからやりなおしてください。

設定操作を中止するにはSETを押します。

お手持ちの機器をリモコン操作する

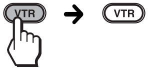
ソニー製品以外の機器を操作する場合は、あらかじめメーカー番号の設定（9ページ）を行ってください。



例: ビデオデッキを操作するには

1 操作する機器の機器選択ボタンを押す。

機器選択ボタンは押したときに点灯し、はなすと消灯します。



2 操作したいボタンを押す。

それぞれの機器の操作ボタンの機能については、『記憶されている機能一覧表』(41ページ)をご覧ください。

ご注意

機器や機能によっては操作できないことがあります。この場合は、お手持ちの機器のリモコンの信号を本リモコンに学習(18ページ)させてからお使いください。ただし、赤外線リモコンに対応していない機器や機能は、本機では操作できません。

音量調節について

音量を調節するときは音量+/−ボタンを押し、一時的に消音するときは消音ボタンを押します。

映像機器を選んでいるときはテレビの音量が調節され(TVが点灯)、オーディオ機器を選んでいるときはアンプの音量が調節されます(AMPが点灯)。この設定は変えることもできます(28ページ)。

ご注意

- 学習機能(18ページ)で音量+/−ボタンや消音ボタンにリモコン信号を記憶させている機器では、テレビやアンプの音量が調節されるかわりに学習した信号の操作になります。
- TVやAMPの音量+/−ボタンや消音ボタンにリモコン信号を学習させた場合、他の機器では学習した信号の操作になります。
- TVまたはAMPにテレビやアンプ以外の機器を設定(31ページ)していると、他の機器を選んでいるときにテレビやアンプの音量調節はできません。

次のページへつづく

各機器の操作について

テレビの入力切り換えについて

入力切換ボタンを押すたびにテレビの入力が切り換わりますが、入力切換ボタンを押しながら以下の数字ボタンを押し、直接切り換えることもできます。

入力切換 + 11　:テレビチューナー
入力切換 + 1　:ビデオ1
入力切換 + 2　:ビデオ2
入力切換 + 3　:ビデオ3
入力切換 + 4　:ビデオ4
入力切換 + 5　:ビデオ5
入力切換 + 6　:ビデオ6

上記の操作をしてもうまくできない場合は、お手持ちの機器のリモコンの信号を本機に学習（18ページ）させてください。
なお、BSチャンネルに直接切り換えるには、『BS機器の操作のしかた』（右記）をご覧ください。

ビデオデッキの入力切り換えについて（ソニー製ビデオデッキのみ）

入力切換ボタンを押すたびにビデオの入力が切り換わりますが、入力切換ボタンを押しながら以下の数字キーを押し、直接切り換えることもできます。

入力切換 + 11　:VHF/UHFチャンネル
入力切換 + 1　:入力1
入力切換 + 2　:入力2
入力切換 + 3　:入力3
入力切換 + 4　:入力4
入力切換 + 5　:入力DV

BS機器の操作のしかた

BSチャンネルへの切り換えは、機器によって操作が異なります。基本的には、お手持ちのテレビやビデオデッキに付属のリモコンと同じ操作です（一部のメーカー、機種を除く）。テレビやビデオデッキの取扱説明書もあわせてご覧ください。
BSデジタル機器を操作する場合は、学習させてください（18ページ）。

● **BSチューナー内蔵テレビの場合**

機器選択ボタンのTVを押す。

操作のしかた1

1 BS/衛星切換ボタンを押して、BSモードにする。
2 数字ボタン（1、3、5、7、9、または11）を押して、BSチャンネルを選ぶ。

操作のしかた2

1 入力切換ボタンを何度か押して、BSモードにする。
2 チャンネル+/－ボタンを押して、BSチャンネルを選ぶ。

操作のしかた3

1 チャンネル+/−ボタンを何度か押して、BSチャンネルに切り換える。

2 さらにチャンネル+/−ボタンを押して、希望のBSチャンネルを選ぶ。

操作のしかた4

1 BS/衛星切換ボタンを押しながら 数字ボタン（1〜12）を押して、BSチャンネルを選ぶ。

BS13チャンネルを選びたいときは数字ボタンの10/0、BS15チャンネルを選びたいときは数字ボタンの12を押します。

操作のしかた5

1 BS/衛星切換ボタンを押しながら チャンネル+/−ボタンを何度か押す。

● BSチューナー内蔵ビデオデッキの場合

機器選択ボタンのVTRを押す。

操作のしかた1

1 BS/衛星切換ボタンを押して、BSモードにする。

2 チャンネル+/−ボタンを押して、BSチャンネルを選ぶ。

操作のしかた2

1 入力切換ボタンを2度押して、BSモードにする。

2 チャンネル+/−ボタンを押して、BSチャンネルを選ぶ。

操作のしかた3

1 チャンネル+/−ボタンを何度か押して、BSチャンネルに切り換える。

2 さらにチャンネル+/−ボタンを押して、希望のBSチャンネルを選ぶ。

操作のしかた4

1 BS/衛星切換ボタンを押して、BSモードにする。

2 数字ボタン（1〜10/0）を押して、BSチャンネルを選ぶ。

ソニー製のビデオデッキでは、BS5チャンネルを選びたいときは数字ボタンの10/0と5を、BS7チャンネルを選びたいときは数字ボタンの10/0と7を、BS11チャンネルを選びたいときは数字ボタンの1と1をそれぞれ順番に押すものもあります。

操作のしかた5

1 BS/衛星切換ボタンを押しながらチャンネル+またはチャンネル−を押して、BSモードにする。

2 チャンネル+/−を押して、BSチャンネルを選ぶ。

● BSモードのときに、主音声や副音声を切り換えるには

- 主音声/副音声を切り換えるときは、BS/衛星切換ボタンを押しながら音声切換を押します。
- 独立音声を選ぶときは、BS/衛星切換ボタンを押しながらオフタイマーボタンを押します。テレビ音声に戻すときは、もう一度BS/衛星切換ボタンを押しながらオフタイマーボタンを押します。

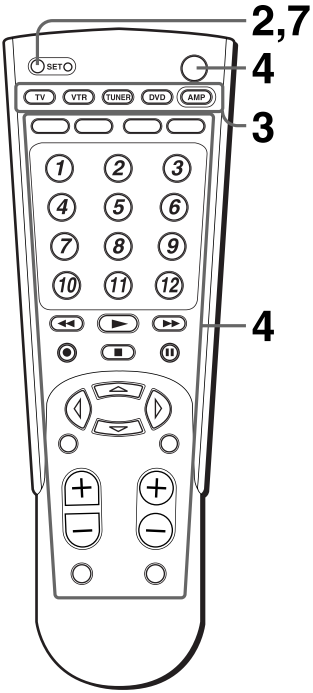
その他のリモコン信号を記憶させる

—学習機能—

メーカー番号を設定しても操作できない製品や機能を操作するために、本機のボタンに操作したい機器のリモコンの信号を「学習」させることができます。学習機能を使えば、メーカー番号を設定（9ページ）したあとで、それぞれのボタンの機能を変えることもできます。学習させたボタンの機能をメモしておくと便利です。（メーカー番号一覧表の裏面にメモできます。）

ご注意

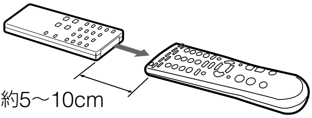
- 学習できないリモコン信号もあります。
- コンピューター用モニター（チューナー内蔵型を含む）も学習させれば使うことができます。
- BSデジタルも学習させれば使うことができます。



例: お使いのビデオデッキのリモコンの►（再生）信号を本機のVTRの►キーに記憶させるには

1 本機（RM-VL700U）とお使いの機器（ビデオデッキ）のリモコンを向かい合わせにする。

お使いの機器のリモコン



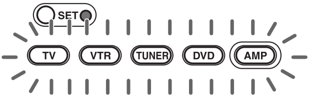
約5～10cm

RM-VL700U

2 SETを3秒以上長押しする。



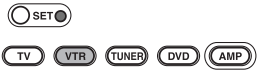
SETランプが点灯し、機器選択ボタンがすべて点滅します。



3 学習させる機器の機器選択ボタンを押す。



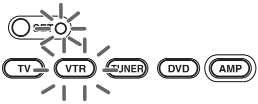
SETランプと押された機器選択ボタンが点灯し、他の機器選択ボタンは消灯します。



4 機能を追加（変更）したい本機のボタンを押す。



SETランプと機器選択ボタンが点滅します（学習待ち状態）。



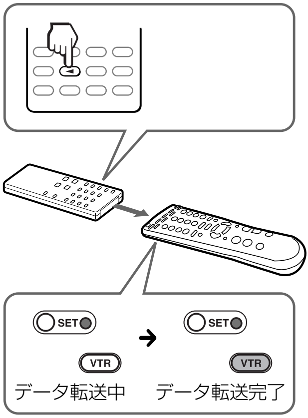
あるリモコン信号がすでにそのボタンに記憶されているときは

SETランプが2回点滅し、手順3の機器選択ボタンを押した後の状態に戻ります。他のボタンを選ぶか、もしくはその信号を消去（24ページ）した後、はじめからやり直してください。

次のページへつづく

5 SETランプと設定中の機器選択ボタンが再び点灯するまで、お使いの機器(ビデオデッキ)のリモコンボタンを押し続ける。

データを転送している間はSETランプだけが点灯し、機器選択ボタンは消灯します。



SETランプが5回点滅したときは

学習ができませんでした。もう一度、手順4と5を行ってください。

6 引き続き他のボタンに学習させるときは、手順4と5を繰り返す。

他の機器のボタンに学習させるには

手順1のようにリモコンを向かい合わせてから、学習させる機器の機器選択ボタンを押し、手順4と5を行ってください。

7 SETを押して学習操作を終了する。

ご注意

- 学習の途中で20秒以上放置すると、学習機能が解除されます。
- 手順4のあと10秒以内に手順5を行わないと、手順3の状態に戻ります。この場合、機器選択ボタンが点灯している間にもう一度手順4を行ってください。

学習操作を中止するにはSETを押します。

正しくリモコン操作ができないときは

学習したボタンで正しく操作できないときは、もう一度学習をやりなおしてください。(例えば、音量+ボタンを1回押しただけで音量が非常に大きくなる場合などは、学習中にノイズが入った可能性があります。)

学習したあとにメーカー番号の設定を行うと

学習機能が優先されるため、そのボタンについてのみ、学習機能で記憶させた機能が残ります。

●(録音または録画)信号を学習させるときは

本機ではひとつのボタンにつきひとつのリモコン信号しか学習させることができません。

お使いのテープデッキやビデオデッキで、録音や録画をするのにふたつのボタンを同時に押す(●ボタンと►ボタンなど)必要がある場合は、それぞれのボタンを本機に記憶させてください。

音量+/ーボタンや消音ボタンにリモコン信号を学習させるときは

- TVとAMP以外の機器で学習させた場合、その機器を操作するときに、音量+/ーまたは消音ボタンを押したときのみ、学習させた信号の操作になります。
- TVやAMPの音量+/ーボタンや消音ボタンにリモコン信号を学習させた場合、他の機器では学習した信号の操作になります。

エアコンのリモコン信号を学習させるときは

27ページのご注意をお読みください。

正しく学習させるコツ

- 学習中に、リモコンを動かさないでください。
- 本機が操作説明どおりの状態になるまで、お使いの機器のリモコンのボタンを押し続けてください。
- 両方のリモコンに、新しい電池を入れて学習を行ってください。
- 直射日光のあたる場所や、照明器具の下などは避けてください。（ノイズが入る原因となります。）
- お使いの機器のリモコンの形状によっては、発光部の位置がずれている場合があります。うまく学習できないときは、リモコンの位置を変えてみてください。
- 双方向リモコン（一部ソニー製のアンプに装備）で学習する場合、アンプなどのメインユニット側の信号と干渉し、うまく学習できないことがあります。そのときは別の部屋に移るなどして操作をしてください。

次のページへつづく

⚠警告

幼児やペットなどに誤って触らせない

このリモコンはオーディオ・ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災やけがなどの原因となります。
使用後は幼児やペットが誤って触らないように、手の届かないところに置くと同時に、ホールド機能（35ページ）を使って操作ボタンをロックしてください。

機器選択ボタンにリモコン信号を記憶させる

機器選択ボタンに手順をひとつ「学習」することができます。機器選択ボタンを押すだけで機器選択に続いて必ず行う操作が自動的に行えるので手順をひとつ省略することができます。例えばDVDプレーヤーをかけるとき、必ずアンプの入力をDVDに切り換える必要がある場合、DVDボタンにアンプの入力切換の信号を記憶させます。DVDボタンひとつ押せば、自動的にアンプの入力切換がDVDに変わります。（この場合、アンプの電源はあらかじめオンにしておく必要があります。）

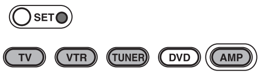
例: お使いのAMPのDVD入力切換のリモコン信号を本機のDVDボタンに記憶させるには

1 学習操作の手順1〜2（19ページ）を行う。

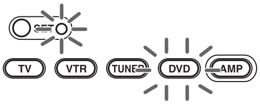
2 学習させる機器の機器選択ボタンを3秒以上長押しする。



押されたボタン以外の機器選択ボタンとSETランプが点灯します。



SETランプと機器選択ボタンが点滅します（学習待ち状態）。



あるリモコン信号がすでにそのボタンに記憶されているときは

SETランプが2回点滅し、SETを長押しした後の状態に戻ります。他のボタンを選ぶか、もしくはその信号を消去（24ページ）した後、はじめからやり直してください。

3 SETランプが点灯し、全ての機器選択ボタンが再び点滅するまで、お使いの機器（アンプ）のリモコンボタンを押し続ける。

データを転送している間はSETランプだけが点灯し、機器選択ボタンは消灯します。

SETランプが5回点滅したときは

学習ができませんでした。もう一度、手順2と3を行ってください。

4 引き続きリモコン信号を記憶させるときは手順2と3をくり返す。

5 SETを押して学習操作を終了する。

ご注意

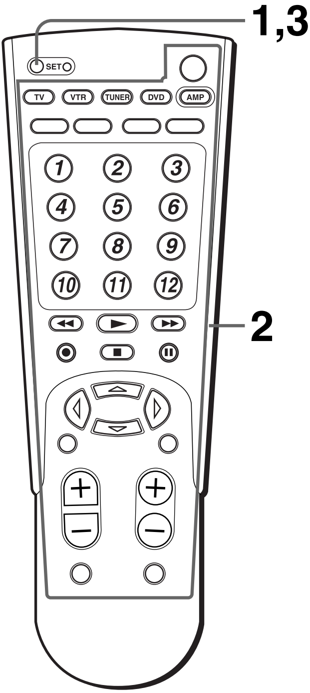
- 学習の途中で20秒以上放置すると、学習機能が解除されます。
- 手順2のあと10秒以内に手順3を行わないと、手順1の状態に戻ります。この場合機器選択ボタンが点灯している間にもう一度手順2から操作を行ってください。

学習操作を中止するにはSETを押します。

次のページへつづく

学習したボタンの機能を変更する

ボタンに学習させた内容を変更するには、学習させたリモコン信号を消去してから、もう一度学習操作を行います。



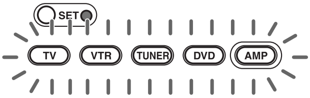
学習させたリモコン信号をひとつずつ消去するには

例: VTRモードの数字ボタン1に学習させたリモコン信号を消去するには

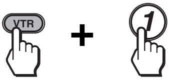
1 SETを3秒以上長押しする。



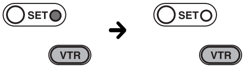
SETランプが点灯し、機器選択ボタンがすべて点滅します。



2 機器選択ボタンを押しながら、学習済みのボタンを押す。



データの消去と同時にSETランプが消灯します。



データ消去中　　データ消去完了

ご注意

必ず機器選択ボタンを押しながら学習済みボタンを押してください。機器選択ボタンを放しますと、学習操作モードに切り換わります。

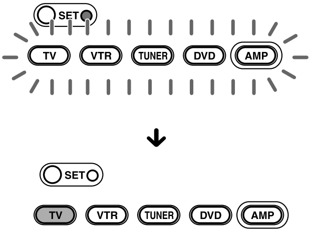
3 SETを押して消去操作を終了する。

消去操作を中止するにはSETを押します。

学習内容を消去したいボタンがTV、VTR、TUNER、DVD、AMPのときは

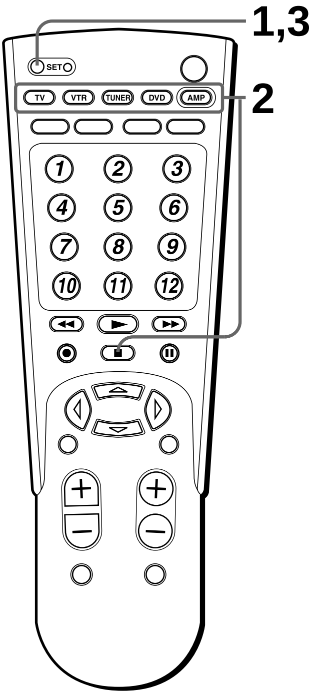
例：TVに学習させたリモコン信号を消去するには

SETを3秒以上押しながら、TVボタンを押す。



データの消去と同時にSETランプが消灯します。

特定の機器選択ボタンの学習内容を一度にすべて消去するには



基本的な使いかた

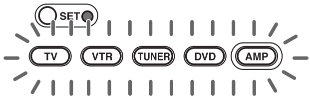
次のページへつづく

例: VTRに学習させたリモコン信号をすべて消去するには

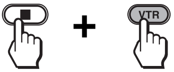
1 SETを3秒以上長押しする。



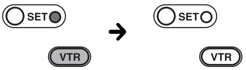
SETランプが点灯し、機器選択ボタンがすべて点滅します。



2 ■を押しながら、学習内容をすべて消去したい機器の機器選択ボタンを押す。



データの消去と同時に他の全機器選択ボタンとSETランプが消灯します。



データ消去中　　データ消去完了

ご注意

ここでは学習した信号が消去されるだけで、機器の設定はそのままです。

3 SETを押して消去操作を終了する。

消去操作を中止するにはSETを押します。

エアコンの信号を学習させる場合のご注意

季節による違いについて

季節によりエアコンの設定や操作を変える必要がある場合は、そのたびに、本機にリモコン信号を学習しなおしてください。

エアコンの入/切がうまくできないときは

お使いのリモコンではひとつのボタンで入/切ができるのに、学習させた本機のボタンでは「入」または「切」しかできない場合は、下記の手順で2つのボタンに学習しなおしてください。

1 エアコンの入/切を学習させたボタンの学習内容をいったん消去する。
2 そのボタンに、同じ手順でエアコンのリモコン信号「入」を学習させる。
3 続けて、別のボタンにエアコンの同じボタンのリモコン信号「切」を学習させる。

これで、本機の2つのボタンにはそれぞれエアコンの電源入（運転）の信号と、電源切（停止）の信号が記憶されるので、本機でエアコンを操作することができます。

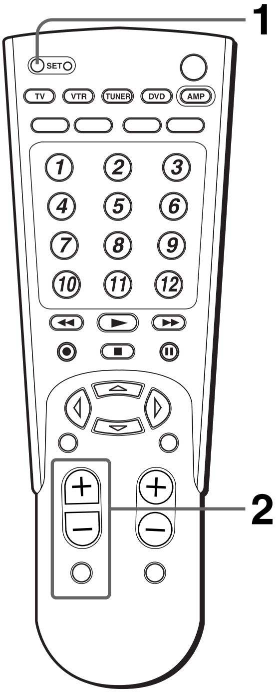
オーディオシステムにつないだ映像機器の音量を調節する

映像機器の音量はテレビで、オーディオ機器の音量はアンプで調節できるようになっています。例えば、ビデオデッキを操作しているとき、音量を調節するためにテレビ操作モードに切り換える必要がありません。工場出荷時は以下のように設定されています。

機器選択ボタン	音量調節できる機器
TV	テレビ
VTR	テレビ
TUNER	テレビ
DVD	テレビ
AMP	アンプ

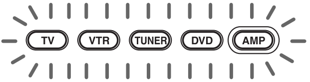
お使いの映像機器をオーディオシステムにつないでいて映像機器の音量調節をアンプで行いたい場合は設定を変えることができます。

工場出荷時の音量調節設定を変えるには



1 SETを押す。

機器選択ボタンがすべて点滅します。



2 消音ボタンを押しながら、音量＋または音量－ボタンを押します。

すべての音量調節設定をAMPにするには

消音ボタンを押しながら、音量＋ボタンを押します。

これらのボタンを押すと、機器選択ボタンがすべて点灯し、はなすと消灯します。



消音ボタンと音量＋ボタンの2重押し

↓



音量調節設定が完了

オーディオ機器のみの音量調節設定をAMPにするには

消音ボタンを押しながら、音量ーボタンを押します。

これらのボタンを押すと、AMPが点灯し、はなすと消灯します。



消音ボタンと音量ーボタンの2重押し

↓



音量調節設定が完了

映像機器とは:
テレビ、ビデオデッキ、デジタルCSチューナー、ケーブルテレビ用ホームターミナル、DVDプレーヤー
オーディオ機器とは:
CDプレーヤー、MDプレーヤー、カセットデッキ、アンプ

設定操作を中止するにはSETを押します。

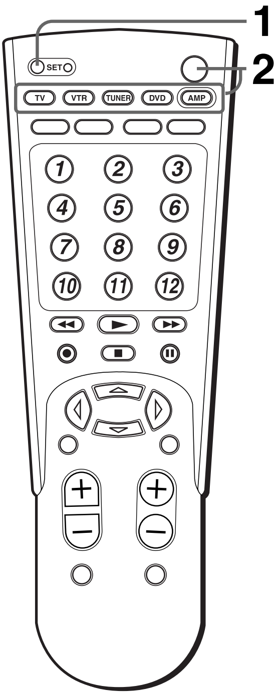
ご注意

学習機能によって、音量＋/ーボタンまたは消音ボタンにリモコン信号を記憶させている場合、この手順を行っても音量＋/ーボタンまたは消音ボタンの設定は変わりません。

機器選択ボタンの機能を拡張する

機器選択ボタンを押すだけで機器の選択と同時に選んだ機器の電源が入るように設定する（ソニー製品のみ）

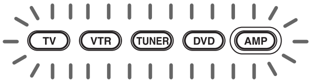
機器選択ボタンにソニー製品の電源オンの信号を追加することができます。機器選択ボタンを押すと、選択した機器の電源が入ります。



例: TVボタンに電源オン機能を設定するには

1 SETを押す。

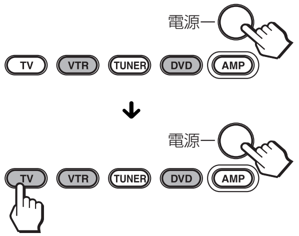
機器選択ボタンがすべて点滅します。



2 電源ボタンを押しながら、機器選択ボタンを押す。

すでに電源オン設定されている機器選択ボタンがあるとき、電源ボタンを押すとその機器選択ボタンが点灯します。

例えば: VTRとDVDがすでに電源オン設定されているとき、電源ボタンを押すとそれらのボタンが点灯します。



設定操作を中止するにはSETを押します。

電源オン機能の設定を解除するには

30ページの手順を繰り返します。
電源ボタンを押したときに点灯した機器選択ボタンを押すと、電源オン機能の設定が解除されます。

ご注意

- ソニー以外のメーカー番号を設定しているときは、この操作はできません。また、電源オン機能を設定した後にメーカー番号を変更（9ページ）すると、電源オン機能が解除されます。
- すでにその機器選択ボタンに「学習」により手順をひとつ記憶させて（18ページ）ある場合は、電源オン機能の設定操作（30ページ）はできますが、そのままでは電源オン機能は使えません。学習内容を消去すれば、電源オン機能が使えるようになります。

機器選択ボタンの表示と違う機器を設定する

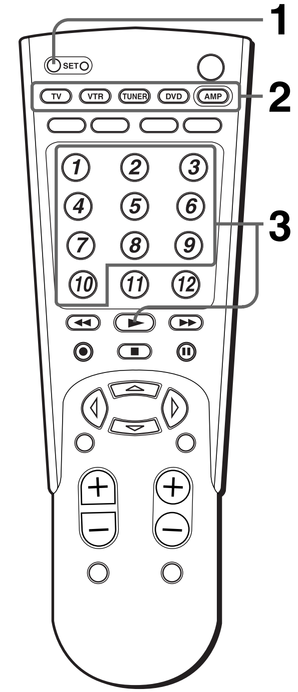
それぞれの機器選択ボタンには、表示とは違う機器を自由に設定することもできます。

ご注意

- 機器選択ボタンに他の機器を設定すると、メーカー番号の設定は消去されます。もとの機器に設定しなおしても、メーカー番号はもとに戻りません。再び、もとの機器で使う場合は、あらためてメーカー番号の設定が必要です（9ページ）。
- TVまたはAMPに違う機器を設定すると、テレビやアンプの音量調節（15、28ページ）が他の機器を選んでいるときに操作できなくなりますのでご注意ください。
- 学習機能によってリモコン信号が記憶された機器選択ボタンに他の機器を設定することはできません。

次のページへつづく

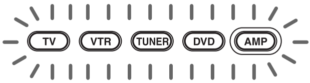
機器選択ボタンの表示と違う機器を設定する（つづき）



例: TUNERボタンにCDプレーヤーを設定するには

1 SETを押す。

機器選択ボタンがすべて点滅します。



2 設定する機器選択ボタン（この例ではTUNER）を押す。

選択された機器の機器選択ボタンが点灯し、他の機器選択ボタンは消灯します。



3 ►を押しながら、その機器選択ボタンに新しく設定する機器に相当する数字ボタン（この例では5）を押す。



機器選択ボタンが下図のように変化し、そのボタンへの機器の設定が確定されます。

►を押しているとき



►+⑤を押しているとき



ボタンをはなしたとき



それぞれの機器に相当する数字ボタンは以下のとおりです。

①: VTR	**⑥: TAPE**
③: TUNER	**⑦: MD**
④: AMP	**⑧: TV**
⑤: CD	**⑪: DVD**

ご注意

- ここではそれぞれの機器の工場出荷状態での操作機能しか設定されません。学習機能（18ページ）によって新たに記憶されたリモコン信号は反映されません。
- 設定する機器にすでに学習がある場合は、手順3で►を押した時、SETランプが2回点滅します。この場合は設定できません。学習した信号を消去してからもう一度左記手順を行うか、まだ学習していない機器選択ボタンを選んでください。
- 学習機能でボタンにリモコン信号を記憶させた機器をコピーすることもできます（34ページ）。

4 • メーカー番号の設定が必要なときは、10～11ページの手順を行う。
• 学習機能でリモコン信号を記憶させたいときは、 19～20ページの手順1と、手順3から7を行う。

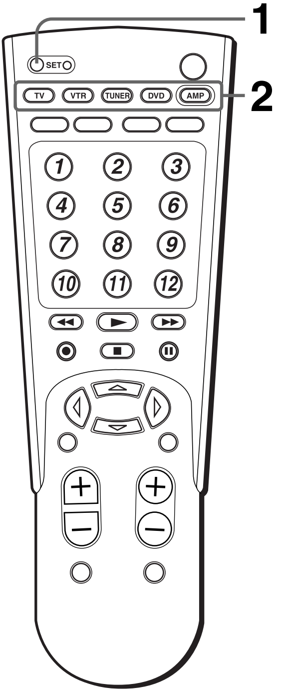
設定操作を中止するにはSETを押します。

機器選択ボタンをもとの機器の設定に戻すには

32ページの手順にしたがってもとの機器の設定を行ってください。ただし、学習されている場合は設定できません。

機器選択ボタンに他の機器の操作設定をコピーする

機器選択ボタンの操作設定をそのまま別の機器選択ボタンにコピーすることができます。メーカー番号（9ページ）や学習されたリモコン信号（18ページ）などがコピーされます。



ご注意

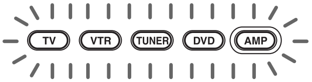
学習機能（18ページ）によってリモコン信号が記憶された機器選択ボタンへコピーすることはできません。

次のページへつづく

例: TVボタンにDVDの設定をコピーするには

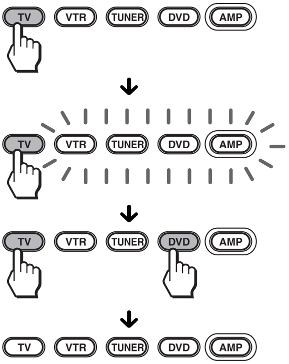
1 SETを押す。

機器選択ボタンがすべて点滅します。



2 コピー先の機器選択ボタンを3秒以上長押ししながら、コピー元の機器選択ボタンを押す。

コピー先の機器選択ボタンを長押しすると、他の機器選択ボタンが全て点滅します。続いてコピー元のボタンを押すと、全ての機器選択ボタンが点灯し、二重押しされている機器選択ボタン以外は、
コピー完了と同時に消灯します。



設定操作を中止するにはSETを押します。

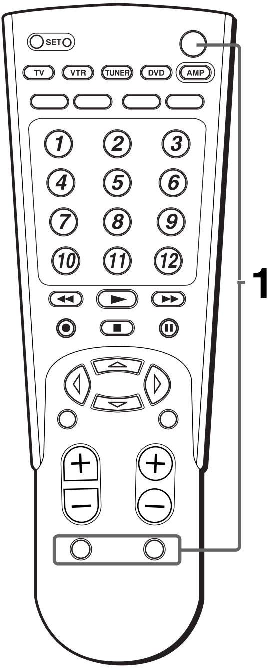
機能選択ボタンをもとの機器設定に戻すには

学習内容をいったん消去（26ページ）してから、32ページの手順に従って、もとの機器を設定し直してください。

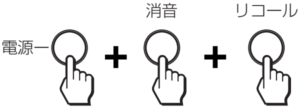
リモコン操作をロックする

—ホールド機能—

誤操作を防ぐために、すべてのボタンをロックすることができます。



1 電源ボタンを押しながら、消音ボタンとリコールボタンを押す。

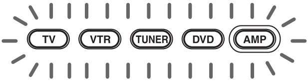


SETランプが1回点滅してホールドが設定されます。



（1回）

ホールド中はすべての操作が無効になります。（機器選択ボタンがすべて2回点滅します。）



（2回）

ホールドを解除するには

上と同じ3つのボタンを同じ順番で同時に押す。
SETランプが2回点滅してホールドが解除されます。



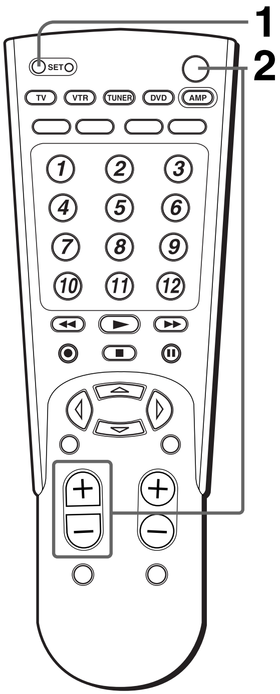
（2回）

その他の機能

キータッチ音を消す

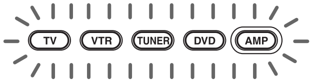
—キータッチ音消音機能—

本機はボタンを押すとタッチ音が鳴るように設定されていますが、この音を消すこともできます。



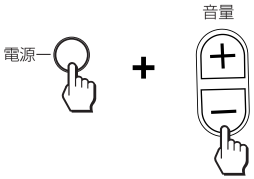
1 SETを押す。

機器選択ボタンがすべて点滅します。

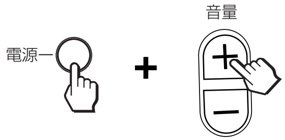


2 電源ボタンを押しながら音量−ボタンを押す。

（すでに電源オン設定（30ページ）されている機器選択ボタンがあるときは、電源ボタンを押すとその機器選択ボタンが点灯します。）



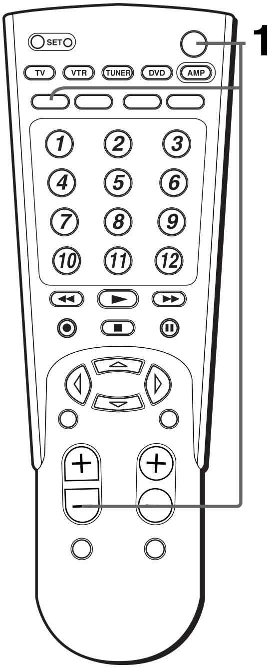
キータッチ音を元に戻すには、電源ボタンを押しながら音量＋を押します。



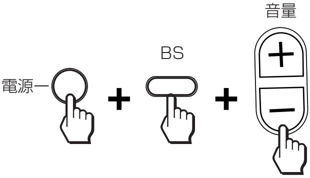
すべての設定内容を消去する

—工場出荷時状態に戻す—

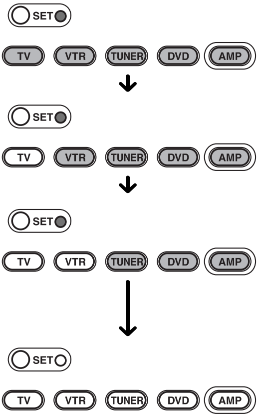
すべての設定内容や学習機能によって記憶されたリモコン信号を消去し、本機を工場出荷時状態に戻すことができます。



1 電源ボタンを押しながらBSボタンと音量－ボタンを押す。



SETランプと機器選択ボタンがすべて点灯してから、左から順に消灯していきます。最後にSETランプが消灯すると、本機のすべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。



正しくお使いいただくために

使用上のご注意

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 暖房器具のそばや直射日光のあたる場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
- 操作する機器のリモコン受光部に、直射日光や強い照明があたらないようにしてください。リモコン操作ができない場合があります。
- このリモコンはオーディオ・ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。

お手入れのしかた

リモコンの表面は、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面を傷めますので、使わないでください。

主な仕様

動作距離
約10m*（正面距離）

学習可能キー数
約180（ソニーリモコン信号にて）

学習可能ビット数
250ビット

学習可能周波数
500kHz以下

電源
DC 3V、単3形乾電池2個

電池持続時間
約6か月（使用頻度で変わります）

最大外形寸法
約63×197×32mm（幅×高さ×奥行き）（EIAJ**）

質量
約137g（電池含む）

付属品
- 単3形乾電池（2）***
- 取扱説明書（1）
- 「メーカー番号一覧表」（1）
- 保証書（1）
- 「ソニーご相談窓口のご案内」（1）

* 使用機器のメーカー・機種によっては距離が変わる場合があります。
** EIAJ（日本電子機械工業会）規格による測定値です。
*** 付属のマンガン電池はお試し用です。

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

故障かな？とお考えになる前に

本機が正しく動作しないときは、まず電池を確認（7ページ）してから、下記の項目をチェックしてください。それでも正しく動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

症状	処置
リモコンでお手持ちの機器が操作できない	• 操作する機器から離れすぎていませんか？ 10m以内の距離でリモコンを使ってください。 • 操作する機器にリモコンを向けているか、操作する機器のリモコン受光部の前に障害物がないか確認してください。 • 操作する機器の電源を入れてください。 • 正しい機器選択ボタンを押しているか確認してください。TUNER、DVDなどの場合は、操作する機器が選択されているか確認してください。 • お使いの機器が赤外線方式のリモコン対応かどうか確認してください。操作する機器にリモコンが付属されていない場合は、リモコンでは操作できないことがあります。 • 選択した機器選択ボタンに別の機器の設定をした可能性があります。そのボタンに設定した機器やメーカー番号などを確認してください。
メーカー番号を設定しても操作できない	• 正しいメーカー番号を設定しましたか？ 同じメーカーでも複数の番号がある場合は、『メーカー番号一覧表』にある他の番号を設定してみてください。 • 同じメーカーでも、機種によっては記憶されているものと異なるリモコン信号を使用している場合があります。メーカー番号を設定しても操作できないボタンがある場合は、学習機能でリモコン信号を記憶させてください（18ページ）。 • 操作しようとしている機器が『メーカー番号一覧表』と違うコードになっている可能性があります。『メーカー番号一覧にない機器を設定する』（12ページ）を参照してサーチ機能でコード番号を設定してみてください。
ボタンを押すと「ピッピッピッ」と音が出続けて機器選択ボタンが一定間隔で点滅する	• 電池が消耗しています。 新しい電池と交換してください。

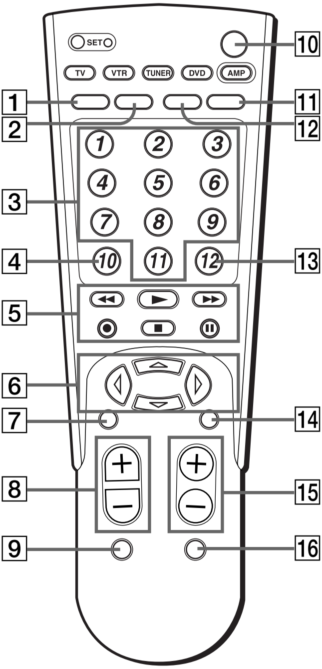
その他

次のページへつづく

故障かな？とお考えになる前に（つづき）

症状	処置
音量調節ができない	● 映像機器の音量調節が正しく設定されていますか？『オーディオシステムにつないだ映像機器の音量を調節する』（28ページ）を参照して正しく設定してください。 ● TVボタンやAMPボタンに違う機器が設定（31ページ）されていませんか？ 表示と違う機器を設定していると、TVやAMPボタン以外の操作画面で音量＋/－ボタンおよび消音ボタンが使えなくなります。
学習がうまくいかない	● 双方向リモコン（一部ソニー製のアンプに装備）で学習する場合、アンプなどのメインユニット側の信号と干渉し、うまく学習できないことがあります。そのときは別の部屋に移るなどして操作をしてください。
学習機能で記憶させた操作ができない	● 正しく学習できなかった可能性があります。『正しく学習させるコツ』（21ページ）を参照して、もう一度学習をやりなおしてください（18ページ）。
学習操作中にSETランプが5回点滅する	● 正しく学習できませんでした。『正しく学習させるコツ』（21ページ）を参照して、もう一度学習をやり直してください（18ページ）。 ● メモリー容量がいっぱいになっていませんか？ 使用頻度が低いボタンに学習させた信号を消去（24ページ）してから、学習を行ってください。
設定操作中に機器選択ボタンが5回点滅する	● メーカー番号の設定ができませんでした。付属の『メーカー番号一覧表』を参照して、もう一度メーカー番号の設定をやり直してください。（9ページ）
学習操作中にSETランプが2回点滅する	● 設定するのに選択した機器選択ボタンや他のボタンが学習機能（18ページ）によってリモコン信号を記憶しています。学習した内容を消去（24ページ）するか、学習していないほかのボタンを選択してから、もう一度設定操作をしてください。
機器選択ボタンがすべて2回点滅する	● ホールド機能（35ページ）が働いていませんか？ ホールド機能を解除（35ページ）してからお使いください。
ボタンを押してもキータッチ音が出ない	● キータッチ音消音機能（36ページ）が働いていませんか？キータッチ音消音機能を解除（36ページ）してからお使いください。

記憶されている機能一覧表



ご注意

メーカーや機種によっては操作できない機能もあります。

TV（テレビ）

本機のボタン	機能
10 電源	電源オン/オフ
3 4 13 1〜12	チャンネル選択（1〜12、10キー選択の場合10/0は0）
1 BS	BS操作（16ページ参照）
2 画面表示	テレビの画面表示切換え
12 オフタイマー	スリープタイマー
11 入力切換	入力切換え
7 メニュー	メニュー表示
6 △	カーソルを上へ移動
6 ▽	カーソルを下へ移動
6 ▷	カーソルを右へ移動
6 ◁	カーソルを左へ移動
14 決定	選択項目の実行
5 ◀◀ *	巻戻し（ビデオ一体型テレビ設定時）
5 ▶ *	再生（ビデオ一体型テレビ設定時）
5 ▶▶ *	早送り（ビデオ一体型テレビ設定時）
5 ● *	録画（ビデオ一体型テレビ設定時）（●を押しながら▶を押す）**
5 ■ *	停止（ビデオ一体型テレビ設定時）
5 ❚❚ *	一時停止（ビデオ一体型テレビ設定時）
15 チャンネル+/−	次のチャンネルへ:+
	前のチャンネルへ:−
16 リコール	ひとつ前の選局チャンネルに戻る
8 音量+/−	音量　大: +
	音量　小: −
9 消音	消音

*　ビデオ一体型テレビ設定時のみ
**　本機では、誤って録画が始まらないように、RECボタン単独では操作できないようになっています。

その他

次のページへつづく

VTR（ビデオデッキ）

本機のボタン	機能
[10] 電源	電源オン/オフ
[3][4][13] 1〜12	チャンネル選択（1〜12、10キー選択の場合10/0は0）
[1] BS	BS操作（16ページ参照）
[2] 画面表示	データスクリーン
[12]オフタイマー	アンテナ出力切換え
[11] 入力切換	ライン入力切換え
[5] ◀◀	巻戻し
[5] ▶	再生
[5] ▶▶	早送り
[5] ●	録画（●を押しながら▶を押す）*
[5] ■	停止
[5] ❚❚	一時停止
[15] チャンネル ＋/−	次のチャンネルへ:＋ 前のチャンネルへ:−

* 本機では、誤って録画が始まらないように、RECボタン単独では操作できないようになっています。

DVD（DVDプレーヤー）

本機のボタン	機能
[10] 電源	電源オン/オフ
[3][4]1〜10/0	数字ボタン（画面上の項目選択）（10/0は0）
[3] 11（＋10）	数字ボタン（10〜以上）
[13] 12（ENTER）	選択項目の実行
[1] BS（オーディオ）	音声切換え
[2] 画面表示	現在の再生状態を画面に表示
[12] オフタイマー（サブタイトル）	サブタイトル切り換え
[5] ●（タイトル）	タイトルメニュー表示
[11] 入力切換（クリア）	取り消し
[16] リコール（リターン）	ひとつ前の選択画面に戻る
[7] メニュー（DVDメニュー）	メニュー表示
[6] △	カーソルを上へ移動
[6] ▽	カーソルを下へ移動
[6] ▷	カーソルを右へ移動
[6] ◁	カーソルを左へ移動
[14] 決定	選択項目の実行
[5] ◀◀	早戻し
[5] ▶	再生
[5] ▶▶	早送り
[5] ■	停止
[5] ❚❚	一時停止

本機のボタン	機能
15 チャンネル+（▶▶I）	次の場面、曲へ
15 チャンネル–（I◀◀）	前の場面、曲へ

AMP（アンプ）

本機のボタン	機能
10 電源	電源オン/オフ
3 1（VIDEO1）	ビデオ1入力
3 2（VIDEO2）	ビデオ2入力
3 3（AUX）	AUX入力
3 4（TUNER）	FM/AMチューナー入力
3 5（CD）	CDプレーヤー入力
3 6（TAPE）	カセットテープデッキ入力
3 7（MD）	MDデッキ入力
3 8（TV）	テレビ入力
3 9（PHONO）	レコードプレーヤー入力
3 11（DVD）	DVDプレーヤー入力
11 入力切換	アンプの入力を押すたびに切り換え
15 チャンネル+/–	次のプリセットへ、高い周波数へ：+
	前のプリセットへ、低い周波数へ：–
16 リコール（シフト）	プリセットの切換え
8 音量+/–	音量大：+
	音量小：–
9 消音	消音

CDプレーヤー

本機のボタン	機能
10 電源	電源オン/オフ
3 4 1〜9, 10/0	曲番号の選択（1〜9、0）
3 11（+10）	曲番号の選択（10〜以上）
13 12（ENT）	実行
5 ◀◀	早戻しまたは前の曲へ
5 ▶	再生
5 ▶▶	早送りまたは次の曲へ
5 ■	停止
5 II	一時停止
15 チャンネル+（▶▶I）	次の曲へ
15 チャンネル–（I◀◀）	前の曲へ
16 リコール（D.SKIP）	ディスクの選択（CDチェンジャーの場合）

その他

次のページへつづく

MDプレーヤー

本機のボタン	機能
3 4 1〜9, 10/0	曲番号の選択（1〜9、0）
3 11（+10）	曲番号の選択（10〜以上）
13 12（ENT）	実行
5 ◀◀	早戻しまたは前の曲へ
5 ▶	再生
5 ▶▶	早送りまたは次の曲へ
5 ■	停止
5 ❚❚	一時停止
5 ●	録音（▶との二重押し）
15 チャンネル+（▶▶❙）	次の曲へ
15 チャンネル–（❙◀◀）	前の曲へ
16 リコール（D.SKIP）	ディスクの選択（MDチェンジャーの場合）

カセットデッキ

本機のボタン	機能
10 電源	電源オン/オフ
4 10/0（◀）	裏面の再生
13 12（◀）	裏面の再生*
5 ◀◀	巻戻し
5 ▶	再生
5 ▶▶	早送り
5 ■	停止
5 ❚❚	一時停止
5 ●	録音（▶との二重押し）
7 メニュー（●）	録音（△との二重押し）*
6 △（▶）	再生*
6 ▽（■）	停止*
6 ▷（▶▶）	早送り*
6 ◁（◀◀）	巻戻し*
14 決定	一時停止*
16 リコール（A/B）	テープデッキ本体のデッキ選択

* ダブルデッキ時に使用可能（ソニー製のAデッキ側）

TUNER（スカイパーフェクTV!）

本機のボタン	機能（お手持ちの機器のリモコンのボタン）		
メーカー名	ソニー	パナソニック/ナショナル（松下）	東芝DXアンテナ、マスプロ八木アンテナ
10 電源	電源	電源	電源
3 1	1	1	1
3 2	2	2	2
3 3	3	3	3
3 4	4	4	4
3 5	5	5	5
3 6	6	6	6
3 7	7	7	7
3 8	8	8	8
3 9	9	9	9
4 10/0	0	0	0
3 11（予約一覧）	予約一覧		訂正
13 12/ENT	選局	戻る	#
2 画面表示	画面表示	画面表示	リザーブ（記憶）
1 BS（衛星切換）	衛星切換	衛星切換	ネットワーク
12 オフタイマー（スチル）	スチル	ページ⬆	リザーブ（呼出）
5 ◀◀（好み一覧）	好み一覧	#	お好みCH チャンネル
5 ▶（番組説明）	番組説明	放送内容	表示
5 ▶▶（番組ガイド）	番組ガイド	番組表	番組ガイド
5 ●（音声切換）	音多切換	信号切換	音多切換
5 ■（日付けジャンル）	日付けジャンル	サブメニュー	ジャンル
5 ❚❚（ラジオ）	ラジオ	ページ⬇	テレビ/ラジオ
7 メニュー	メニュー	メニュー	メニュー
6 △	⬆	⬆	⬆
6 ▽	⬇	⬇	⬇
6 ▷	➡	➡	➡
6 ◁	⬅	⬅	⬅
14 決定	決定	決定	決定
11 入力切換（i.LINK）	i.LINK	裏番組	機能
15 チャンネル+/–	チャンネル+/–	チャンネル+/–	チャンネル+/–
16 リコール	ジャンプ	前選局	戻る

次のページへつづく

TUNER（スカイパーフェクTV!）

本機のボタン	機能（お手持ちの機器のリモコンのボタン）	
メーカー名	日立	アイワ
10 電源	電源	電源
3 1	1	1
3 2	2	2
3 3	3	3
3 4	4	4
3 5	5	5
3 6	6	6
3 7	7	7
3 8	8	8
3 9	9	9
4 10/0	0	10/0
3 11（予約一覧）	予約一覧	予約一覧
13 12/ENT	戻る	選局
2 画面表示	画面表示	画面表示
1 BS（衛星切換）	衛星切換	JSkyB/PerfecTV 衛星A/B
12 オフタイマー （スチル）	ページ⬆	スチル 好み設定
5 ◀◀（好み一覧）	マイCH	好み一覧 好みCH⬇
5 ▶（番組説明）	詳細	番組説明
5 ▶▶（番組ガイド）	番組ガイド	番組ガイド
5 ●（音声切換）	音声切換	音声切換
5 ■（日付けジャンル）	機能	日付けジャンル 好みCH⬆
5 ❚❚（ラジオ）	ページ⬇	ラジオ 取り消し
7 メニュー	メニュー	メニュー
6 △	⬆	⬆
6 ▽	⬇	⬇
6 ▷	➡	➡
6 ◁	⬅	⬅
14 決定	決定	決定
11 入力切換（i.LINK）	予約登録	戻る
15 チャンネル＋/－	チャンネル＋/－	チャンネル＋/－
16 リコール	CHリターン	前CH、ラスト5CH

シャープ	マスプロ	NEC	ユニデン
電源	電源	電源	電源
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
0	0	0/10	0
予約確認	予約確認		予約確認
戻る	#		終了
表示切り	表示	ロゴ表示	
衛星切換	衛星切換		
ページ↑ ページ→			
マイチャンネル マイプログラム	お好み↓		
情報表示（番組情報）	説明		
番組ガイド	番組表		
音声切換	音多切換		
ジャンル	お好み↑		
ページ↓ ページ←			
メニュー	メニュー	メニュー	メニュー
↑	↑	↑	↑
↓	↓	↓	↓
→	→	→	→
←	←	←	←
決定/スチル	決定	決定/スチル	決定/スチル
お好みA/B/C/D/E/F/G/H	戻る		
選局↑/↓ ページ↑/↓	チャンネル +/−	チャンネル +/−	チャンネル +/−
チャンネルバック			

次のページへつづく

TUNER（ケーブルテレビホームターミナル）

本機のボタン	機能（ソニー）	機能（他社のホームターミナル）
10 電源	電源	電源
3 1	1	1
3 2	2	2
3 3	3	3
3 4	4	4
3 5	5	5
3 6	6	6
3 7	7	7
3 8	8	8
3 9	9	9
4 10/0	0	0
3 11（予約一覧）	予約一覧	
13 12/ENT	選局	
2 画面表示	画面表示	CHコール（表示、表示コール）、時計
1 BS（衛星切換）	JSkyB/PerfecTV	
12 オフタイマー（スチル）	スチル	
5 ◀◀（好み一覧）	好み一覧	お好みCH（メモリー、お好み）
5 ▶（番組説明）	番組説明	
5 ▶▶（番組ガイド）	番組ガイド	
5 ●（音声切換）	二重音声	多重切換（主/副）
5 ■（日付けジャンル）	日付けジャンル	
5 ❚❚（ラジオ）	ラジオ	呼出し
7 メニュー	メニュー	メニュー
6 △	⬆	⬆
6 ▽	⬇	⬇
6 ▷	➡	➡
6 ◁	⬅	⬅
14 決定	決定	決定
11 入力切換（i.LINK）	i.LINK	入力切換（ホームターミナル/ビデオ、ビデオ）
15 チャンネル+/−	チャンネル+/−	チャンネル（選局）⬆/⬇
16 リコール	ジャンプ	リターン（リピート、チャンネルリターン、CHリコール）

TUNER（アナログBS/CSチューナー、MUSEデコーダー）

本機のボタン	機能（ソニー）
10 電源	電源
3 1	1
3 2	2
3 3	3
3 4	4
3 5	5
3 6	6
3 7	7
3 8	8
3 9	9
4 10/0	10/0
3 11（予約一覧）	11
13 12/ENT	12/ENTER
2 画面表示	画面表示
1 BS（衛星切換）	BS/CS切換*
12 オフタイマー（スチル）	独立音声切換*
5 ●（音声切換）	音声切換
5 ❚❚（ラジオ）	WOWOW選択
11 入力切換（i.LINK）	入力切換
15 チャンネル+/–	チャンネル+/–

* BS/CSチューナーのみ

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ、ヤ行

ラ、ワ行

アルファベット順

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合せください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金　9:00～18:00

（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：　RM-VL700U
- 故障状態：　できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル…………　0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）

- 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
- Fax……………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

http://www.sony.co.jp/

Printed in Malaysia